

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-ア	沖縄らしい風景づくり	施策	良好な景観創出のための仕組みづくり
			施策の小項目名	景観資源を活かした農地・農村の整備
主な取組	農村集落基盤・再編・整備事業			
対応する主な課題	各地域が有する自然、歴史、風土等を生かした沖縄らしい良好な景観の形成に向けては、市町村や地域住民が方向性を共有し、主体的に参画できる仕組みの構築が不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
農業生産基盤の整備と農村生活環境の整備を総合的に実施することで、持続的な農業の展開を図るとともに、地域の想像力を生かした個性的で魅力ある村づくりを推進し、沖縄らしい風景作りに寄与する。						
実施主体		県、市町村				
担当部課【連絡先】		農林水産部農地農村整備課 【098-866-2285】				
		自然環境・生態系保全施設の整備				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 農村集落基盤再編・整備事業							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ハード)	補助	498,014	252,065	206,082	535,324	193,485	172,411	一括交付金(ハード)	R2年度： 今帰仁西地区(今帰仁村)他2地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行った。 R3年度： 真壁西地区(糸満市)他1地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行う。
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
		-	-	-	-	-	-		R2年度： - R3年度： -

様式1(主な取組)

活動指標名	自然環境・生態系保全施設の整備地区数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	8地区	6地区	5地区	5地区	3地区	-	100.0%	193,485	順調	今帰仁西地区(今帰仁村)他2地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行った。
活動指標名	-				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	-	-	-	-	-	-				今帰仁西地区(今帰仁村)他2地区において、農業生産基盤とともに地域農業活動拠点施設等が整備されたことにより、農業・農村がもつ多面的機能が発揮され、農業生産基盤と農村生活環境の改善・向上が図られた。
活動指標名	-				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	-	-				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<p>・課題を総合的に把握するため、各地区ごとに『課題整理票』を作成する。『課題整理票』には、事業採択時点からの課題に加え変更済の事業内容を時系列的に把握できるように整理し、今後想定される課題も含めて総合的に事業を把握することによって、計画変更手続きや再評価委員会などの追加的な行政手続きが発生しないように慎重に確認し、無理のない執行計画へ見直しを進めることによって、事業効果の早期発現及び当該年度予算の繰越削減に努める。</p>						<p>・令和2年5月から『課題整理票』を含むヒアリング資料を用いて実施主体及び県の関係機関と実施状況を共有することで、早期の予算調整を行うことができ、不要額を発生させることなく事業を完了した。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none"><li>・計画等策定時或いは事業遂行時において発生した用地取得の課題や作付調整の課題について、解決に時間を要し、事業遂行に支障をきたすことが懸念される。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・整備箇所について、豪雨による現場条件等の変化により工事の進捗に影響を及ぼすことが懸念される。</li></ul>

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・課題解決に向けて、事業の実施途中においても、各地区の予算の執行状況及び計画予定を定期的に整理し、適宜、県内部或いは関係機関との調整を行うことが必要である。
- ・円滑な事業実施に向けて、地元調整時期の検討や関係市町村等との連携強化を図ることが必要である。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き円滑な事業執行に向けて市町村の担当者へのヒアリングを定期的に行い、関係機関と連携を行い、事業効果の早期発現及び当該年度予算の繰越削減に努める。また、事業の交付決定前着手の積極的活用を促す。